

第12期 中間報告書

2007.10.1 - 2008.3.31

dwango

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 小林 宏

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第12期中間期(2007年10月から2008年3月まで)における業績の概況及び通期の見通しについてご報告いたします。

当中間期におきましては、モバイル事業において会員数が順調に推移し予想を上回る売上を達成しましたが、ゲーム事業、ポータル事業\*においては予想を下回る結果となったため、売上高は124億63百万円(期首予想比、3億36百万円減)となりました。費用面では、着うた®・着うたフル®の利用増加により著作権使用料が増加いたしました。外注費や広告宣伝費、研究開発費などを圧縮したことにより、営業利益は32百万円(同、4億62百万円増)、経常利益は60百万円(同、4億60百万円増)となりました。

しかしながら、特別損失として投資有価証券評価損やソフトウェアの計上をしたことにより、4億93百万円の中間純損失(同、6百万円増)となりました。

当社の主要ビジネスのひとつであるモバイル事業につきましては、前期に引き続き、着メロサイトの会員数は減少し

ておりますが、人気楽曲の先行配信・オリジナル楽曲の配信及び関連企画、会員獲得導線の拡大などを積極的に実施した結果、着うた®及び着うたフル®の会員数は増加いたしました。

また、昨年よりサービスを開始した「ニコニコ動画」は、急速に会員数を伸ばしており、順調に規模を拡大しております。現在は、会員数の増加に伴うサーバ増強・回線確保及び収益多様化に向けての課金システムをはじめ各種機能・サービス追加の開発費などの先行投資を行っており、未だ本格的な収益への貢献には至っておりません。

なお、通期の業績見通しにつきましては、2007年11月13日付で公表いたしました連結業績予想及び個別業績予想から修正はございません。

今期はポータル事業の主要ビジネスとなる「ニコニコ動画」の成長の勢いを継続させることに注力しており、5月には登録会員数が700万人を突破いたしました。今期中の目標である900万人、そして年内1,000万人は十分達成可能と見込まれます。その際には、「ニコニコ動画」は、国内トップクラスのネットコミュニティサービスとなります。「ニコニコ動画」における収益モデルは、①有料会員サービス、②広告販売、③アフィリエイト収入の3つのモデルがありますが、今後は、新サービスの投入も予定しており、新たな収益手段の構築を積極的に進めてまいります。

著作権に関する取り組みにつきましては、4月に社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）と管理楽曲の許諾に関わる契約を締結いたしました。これにより将来にわたってのコンテンツホルダーとの積極的なビジネス展開が可能となりました。

さらに5月には、日本最大級のポータルサイトである

Yahoo! JAPANとの協業を開始し、Yahoo! ショッピングをはじめとする各種コンテンツ、サービスの提供を開始いたしました。今後もサービスの追加を予定しており、両社の強みを活かしたエンタテインメントコンテンツの拡充及びサービスの充実を図ってまいります。

このように「ニコニコ動画」を取り巻く環境は、急速に整いつつあり、本格的な収益化に向けての準備は着々と進んでいます。

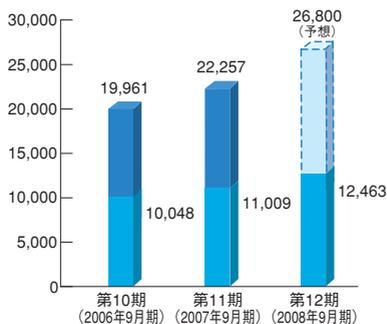
当社グループでは、モバイルコンテンツビジネス及び「ニコニコ動画」を中心に、様々なエンタテインメント系サービスを提供し続けることにより、今までにないビジネスチャンスの創出に努め、これにより総合エンタテインメントポータル化を目指してまいります。

株主の皆様には何卒ご理解のうえご支援賜りますようお願い申し上げます。

\*当連結会計年度よりセグメント区分を変更し「ポータル事業」を新設いたしました。

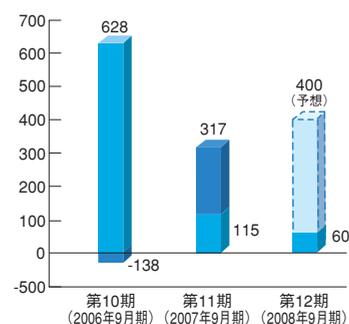
### ● 連結売上高

(単位:百万円) ■ 中間 ■ 通期



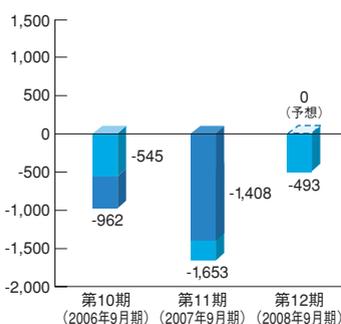
### ● 連結経常利益

(単位:百万円) ■ 中間 ■ 通期



### ● 連結当期(中間)純利益

(単位:百万円) ■ 中間 ■ 通期



# セグメント別業績概況(連結)

当期よりセグメント区分を見直し、前連結会計年度において「その他事業」に含めておりました事業を、「ポータル事業」として区分し、前期までの「ソリューション事業」は、「その他事業」に含めております。また、前中間連結会計期間の数値は変更後のセグメント区分に組み替えて算出しております。

## 》》》 モバイル事業

モバイル事業におきましては、携帯端末の高性能化・高速データ通信の実現などに伴い着うた<sup>®</sup>、着うたフル<sup>®</sup>などのリッチコンテンツが主流になってきております。

当社では市場ニーズの変化に合わせ、引き続き着うた<sup>®</sup>、着うたフル<sup>®</sup>サイトにおいては積極的に人気楽曲の権利獲得に注力するなど、ラインナップの充実化を図るとともに、多種多様なユーザーニーズに対応できるようなサイト展開を行ってまいりました。

音楽系サイトのみならず、ゲーム系サイトでは昨年11月よりアイテム課金型の育成アドベンチャーゲーム「インストールメアリー」の開始や、携帯端末の新機能に合わせた新しいサイト、新たなジャンルについても随時投入することにより、ユーザーが求める全てのジャンルに対応できるようサービスを拡充してまいりました。

また、「ニコニコ動画」内サービスである「ニコニコ市場」において、着うた<sup>®</sup>、着うたフル<sup>®</sup>などのデジタルコンテンツ販売を行うなど、他サービス・事業とも連携することにより、今までにはないチャネルからの新規ユーザーの獲得に努めてまいりました。

これらの取り組みにより、着メロサイトの会員数減少があったものの、着うた<sup>®</sup>、着うたフル<sup>®</sup>サイトは好調に会員数を伸ばし、各新サイトにおいても順調にユーザーを獲得できたことから、当中間連結会計期間の有料ユニークユーザー数は380万人(前年同期比28万8千人増)、ARPUは381円(同23円増)となりました。

この結果、モバイル事業の売上高は82億23百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は15億97百万円(前年同期比55.0%増)となりました。

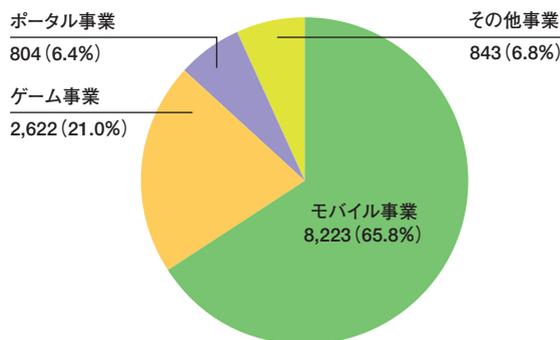
### ● ユニークユーザー数とARPUの推移



※1 有料ユニークユーザー数とは、ユーザーIDに基づきカウントする有料ユーザー数。延べ会員数ではなく、同一ユーザーが複数サイトへ加入している場合にも1人としてカウント。

※2 ARPU (Average Revenue Per User) とは、ユーザー1人当たりの月間売上高のこと。同一ユーザーの複数サイトへの加入状況を把握することで算出が可能となっております。顧客単価と同義。

### ● セグメント別売上高 (単位:百万円)



## 》》 ゲーム事業

ゲーム事業におきましては、株式会社スパイクが開発いたしましたニンテンドーDS用ゲームソフト「脳内エステIQサプリDS2—スッキリキング決定戦—」や株式会社チュンソフトが株式会社ポケモンと共同開発いたしましたニンテンドーDS用ゲームソフト「ポケモン不思議のダンジョン」シリーズの海外及び国内における追加販売などが売上に寄与しております。しかしながら、他一部タイトルの販売時期のずれ込みや販売計画本数の未達などがありました。

また、一昨年設立いたしましたゲームズアリーナ有限責任事業組合1号(LLP)につきましては、収益モデルを見直し、解散・清算を行い、同事業を株式会社ゲームズアリーナが引き継ぐことにより、オンラインゲーム「アミーゴ・アミーガ」を運営してまいります。

結果、ゲーム事業の売上高は26億22百万円(前年同期比15.9%減)、営業利益は2億49百万円(前年同期比48.9%減)となりました。

## 》》 ポータル事業 携帯電話やPCのメール・WEBなどを利用した各種情報・付帯広告の配信、動画投稿共有サイトの運営を行う事業

ポータル事業におきましては、株式会社ニワンゴが運営する「ニコニコ動画」が順調に登録会員数を伸ばしております。

本年3月には新バージョンである「ニコニコ動画(SP1)」のサービスを開始し、今まで以上にユーザのクリエイティブを刺激し、エンタテインメント性を高めるツールやイベントなど、魅力的なサービスの拡充を図りました。

現状の収益の柱は、様々な特典が受けられる有料サービス「ニコニコプレミアム会員」(本年3月末会員数約19万人)からの収入、

広告収入、アフィリエイト収入となっております。それぞれ着実に売上に貢献しておりますが、登録会員数の増加に伴う設備投資や回線費用の増加、新たな収益多様化のための先行投資などにより、まだ収益への貢献には至っておりません。

以上の結果、ポータル事業の売上高は8億4百万円、営業損失は5億94百万円となりました。

## 》》 その他事業

その他事業におきましては、アニメーション番組への出資による利益分配金、ゲームソフト攻略本などがそれぞれ売上に貢献しております。しかしながら、アニメ関連事業など、事業立ち上げに伴い一部費用が先行していることなどにより、結果、

その他事業の売上高は8億43百万円(前年同期比135.3%増)、営業損失は15百万円(前年同期は1億74百万円の損失)となりました。

# ニコニコ動画

## ■ 日本発の“非同期”文化を生み出したニコニコ動画

「ニコニコ動画」はサービス開始から1年未満でID登録者数500万人を突破した、急成長しているインターネットコミュニティサービスです。「ニコニコ動画」では、インターネット上で再生される動画に対し、リアルタイムでコメントを付けることができます。書き込まれたコメントは動画の再生時間に応じて右から左へと流れるかたちで表示されます。

コメントが書き込まれた動画は再生時間軸に紐づいて再生されるため、視聴したユーザは、まるで他のユーザと一緒に動画を見ているような感覚(当社では『非同期』と呼んでいます)を味わうことができます。「ニコニコ動画」は、「ネットに生まれて ネットでつながる」という当社の経営理念の集大成といえる日本発のインターネットコミュニティサービスです。

PC : <http://www.nicovideo.jp>

携帯電話: <http://m.nicovideo.jp>

## ■ 収益多様化に向けた取り組み:新規サービスの投入

「ニコニコ動画」は、動画を快適に視聴できる「ニコニコプレミアム会員」、ウェブサイト上のバナーなどの「広告」、動画に関連する商品を貼り付け、購入できる「ニコニコ市場」の3つのビジネスモデルを通して売上増加を図っております。これらにより、初月は3千万円程度であった売上が2008年3月には約1.5億円規模となり、ビジネスとして着々と成長しております。費用に関しては同月約2.5億円を計上いたしました。これは会員増に伴う回線の増設や収益多様化に向けての先行投資などを行ったためです。今期の目標である登録会員数900万人達成に向けて、成長の勢いを維持してまいります。

収益の多様化に向けて、パートナー企業との連携を推進し、さらなるユーザの獲得及び新機能・サービスの追加を実施し、「ニコニコ動画」のポータル化を目指します。社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)との契約締結やYahoo! JAPANとの協業にて、今後も「ニコニコ動画」が当社グループにおいて大きな収益の柱となることを目指しております。

## ニコニコ動画(SP) NICO NICO DOUGA



©2008 dwango planning and development Co.,Ltd. / なーごなー

### ● 有料サービス(ニコニコプレミアム会員)

有料会員専用サーバを利用した快適で高画質な通信環境、その他様々なオプション機能を提供。課金コース:月額課金(525円:税込)、90日チケット(1,680円:税込)

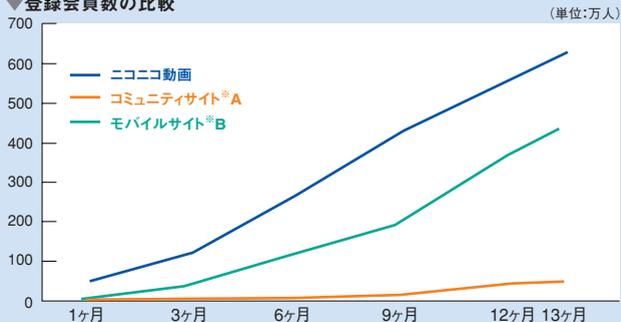
### ● 広告販売

サイト上に広告を掲載することにより、広告主から収入を得るもの。定刻の時報とともに登場する「ニコニコ割り込み」(通称ニコ割)は、時報視聴者全員への効果的な告知が可能。

### ● ニコニコ市場

動画や動画につけられる「タグ」に関連した他社の商品・サービスを紹介し、購入につながった場合に報酬を得るもの。

### ▼ 登録会員数の比較





# 中間連結財務諸表(要旨)

## ■中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期 (2008年3月31日現在)	前中間期 (2007年3月31日現在)	前期 (2007年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	18,693,742	18,583,840	19,068,559
現金及び預金	5,220,543	5,271,758	4,726,722
受取手形及び売掛金	5,531,341	4,745,430	5,457,324
有価証券	6,452,902	6,951,877	7,451,863
たな卸資産	131,900	127,442	71,937
その他	1,357,053	1,492,152	1,360,710
貸倒引当金	—	△4,819	—
固定資産	6,112,315	6,679,143	6,448,033
有形固定資産	1,470,274	1,001,085	1,329,096
建物及び構築物	288,639	302,652	295,636
工具器具備品	1,178,592	697,983	1,033,010
その他	3,042	449	449
無形固定資産	1,019,042	819,305	1,015,291
投資その他の資産	3,622,998	4,858,752	4,103,646
投資有価証券	2,618,679	3,996,469	2,804,330
その他	1,004,318	862,362	1,299,315
貸倒引当金	—	△78	—
資産合計	24,806,057	25,262,984	25,516,592

科目	当中間期 (2008年3月31日現在)	前中間期 (2007年3月31日現在)	前期 (2007年9月30日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	5,234,482	4,781,715	5,200,549
支払手形及び買掛金	1,404,152	1,452,733	1,779,122
短期借入金	700,000	200,000	500,000
1年以内返済予定長期借入金	43,033	—	25,842
1年以内償還予定社債	—	60,000	30,000
未払金	1,462,788	1,426,587	1,378,846
賞与引当金	299,146	228,244	270,632
役員賞与引当金	—	10,000	—
返品調整引当金	73,058	45,609	58,583
その他	1,252,304	1,358,540	1,157,523
固定負債	16,553	4,139	34,387
長期借入金	13,462	—	33,715
その他	3,091	4,139	672
負債合計	5,251,036	4,785,855	5,234,936
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	18,780,751	19,390,770	19,646,657
資本金	10,069,622	10,053,162	10,058,642
資本剰余金	11,720,145	11,703,685	11,709,165
利益剰余金	△1,458,579	△815,640	△570,713
自己株式	△1,550,437	△1,550,437	△1,550,437
評価・換算差額等	16,596	520,035	△86,966
少数株主持分	757,672	566,321	721,964
純資産合計	19,555,021	20,477,128	20,281,656
負債純資産合計	24,806,057	25,262,984	25,516,592

## ■ 中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当中間期 (自 2007年10月1日 至 2008年3月31日)	前中間期 (自 2006年10月1日 至 2007年3月31日)	前期 (自 2006年10月1日 至 2007年9月30日)
売上高	12,463,469	11,009,157	22,257,235
売上原価	6,991,012	4,930,333	11,044,702
売上総利益	5,472,456	6,078,824	11,212,533
販売費及び一般管理費	5,439,878	5,945,157	10,844,273
営業利益	32,578	133,666	368,260
営業外収益	43,465	32,093	70,714
営業外費用	15,406	50,457	121,110
経常利益	60,636	115,302	317,864
特別利益	1,908	—	780,796
特別損失	432,925	1,587,863	2,024,043
税金等調整前中間(当期) 純損失(△)	△370,380	△1,472,561	△925,383
法人税、住民税及び事業税	141,827	23,347	341,176
法人税等調整額	31,784	△447	△147,466
少数株主利益又は損失(△)	△50,700	158,083	289,524
中間(当期)純損失(△)	△493,291	△1,653,545	△1,408,618

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当中間期 (自 2007年10月1日 至 2008年3月31日)	前中間期 (自 2006年10月1日 至 2007年3月31日)	前期 (自 2006年10月1日 至 2007年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	574,626	1,253,739	1,224,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	△887,224	△1,071,477	△462,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,676	△354,620	△79,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,064	△95	81
現金及び現金同等物の増減額	△426,339	△172,454	681,894
現金及び現金同等物の期首残高	12,076,886	11,386,110	11,386,110
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	8,881	8,881
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	11,650,547	11,222,537	12,076,886

## ■ 中間連結株主資本等変動計算書 (自 2007年10月1日 至 2008年3月31日)

(単位:千円)

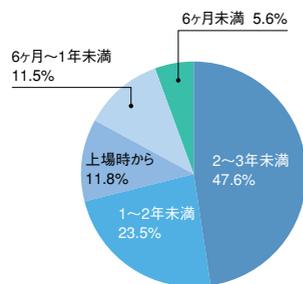
	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年9月30日残高	10,058,642	11,709,165	△570,713	△1,550,437	19,646,657	△88,362	1,396	△86,966	721,964	20,281,656
中間連結会計期間中の変動額										
新株の発行	10,980	10,980			21,960					21,960
剰余金の配当			△394,574		△394,574					△394,574
中間純損失			△493,291		△493,291					△493,291
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						104,127	△564	103,562	35,707	139,270
中間連結会計期間中の変動額合計	10,980	10,980	△887,865	—	△865,905	104,127	△564	103,562	35,707	△726,634
2008年3月31日残高	10,069,622	11,720,145	△1,458,579	△1,550,437	18,780,751	15,764	832	16,596	757,672	19,555,021

# 「株主様アンケート」集計結果のご報告

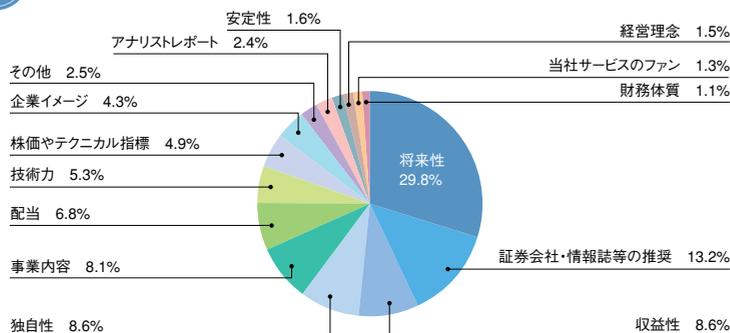
2007年12月20日現在、全株主様にお届けいたしました、第11期定時株主総会決議ご通知に同封の「株主様アンケート」につきましては、数多くの株主様からご返信をいただき、誠にありがとうございました。簡単ではありますが、集計結果をご報告申し上げます。

■ 当社からの送付数:11,735名様 ■ 株主様からのご返送数:481名様

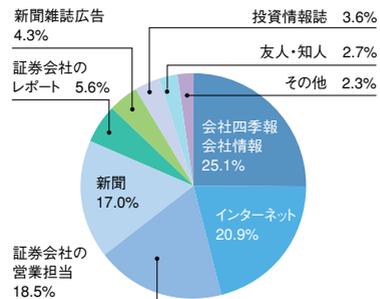
## Q1 当社株式の保有期間をお聞かせください。



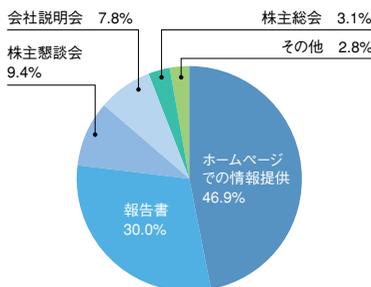
## Q2 当社株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答可)



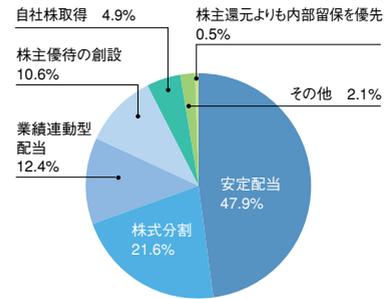
## Q3 投資情報はどのようにして入手されていますか。(複数回答可)



## Q4 当社のIR活動について、特に充実を希望されることは何でしょうか。



## Q5 当社に株主還元策として期待されるものは何でしょうか。



■ 当社といたしましては、「株主様アンケート」の結果を踏まえ、今後のIR活動の参考とさせていただきます。

# 株式の状況／会社概要

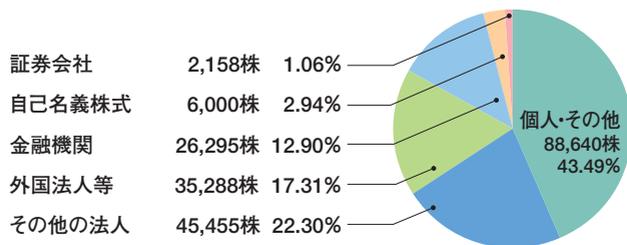
## 株式の状況 (2008年3月31日現在)

発行可能株式総数	528,000株
発行済株式総数	203,836株
株主数	9,194名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社	40,900	20.06
川上 量生	37,895	18.59
森 栄樹	10,100	4.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	9,605	4.71
バンクオブニューヨーク・シーエムクライアントアカウント ジェイビーアールディアエスジーエフイーエイシー	8,373	4.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	8,127	3.98
自社(自己株口)	6,000	2.94
太田 豊紀	4,750	2.33
日本証券金融株式会社	3,838	1.88
有限会社パーセント	2,815	1.38

## 所有者別株式数比率



## 会社概要 (2008年3月31日現在)

設立年月日	1997年8月6日																				
本社所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル																				
資本金	100億6,962万円																				
従業員数	単体 357名 連結 626名																				
事業内容	次世代ネットワークエンタテインメントを対象としたコンテンツ及びシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング																				
役員	<table> <tr> <td>代表取締役会長</td> <td>川上 量生</td> </tr> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>小林 宏</td> </tr> <tr> <td>取締役副社長</td> <td>太田 豊紀</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>松本 康一郎</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>麻生 巖</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>荒木 隆司</td> </tr> <tr> <td>監査役(常勤)</td> <td>小池 哲</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>佐藤 辰男</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>鈴木 祐一</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>永野 明</td> </tr> </table>	代表取締役会長	川上 量生	代表取締役社長	小林 宏	取締役副社長	太田 豊紀	取締役	松本 康一郎	取締役	麻生 巖	取締役	荒木 隆司	監査役(常勤)	小池 哲	監査役	佐藤 辰男	監査役	鈴木 祐一	監査役	永野 明
代表取締役会長	川上 量生																				
代表取締役社長	小林 宏																				
取締役副社長	太田 豊紀																				
取締役	松本 康一郎																				
取締役	麻生 巖																				
取締役	荒木 隆司																				
監査役(常勤)	小池 哲																				
監査役	佐藤 辰男																				
監査役	鈴木 祐一																				
監査役	永野 明																				
子会社	株式会社ドワンゴ・ミュージックパブリッシング 株式会社ドワンゴ・プランニングアンドディベロップメント 株式会社ドワンゴ・エージョー・エンタテインメント 株式会社トラン 株式会社ニワンゴ 株式会社モバイルコンテンツ 株式会社スカイスクレイパー 株式会社ゲームズアリーナ 株式会社チュンソフト 株式会社スパイク 株式会社ティーアンドイーソフト 株式会社ホーゲット 株式会社Realize Records 多玩國股份有限公司(台湾 台北市)																				
関連会社	株式会社AG-ONE 株式会社魔法のiらんど																				

## 株主メモ

- 事業年度** 10月1日～翌年9月30日
- 定時株主総会** 毎年12月
- 期末配当基準日** 9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
- 公告方法** 当社のホームページに掲載します。  
URL <http://info.dwango.co.jp/ir/>  
なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない時は、日本経済新聞に掲載して行うものとします。
- 証券コード** 3715
- 株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先** 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL:0120-232-711
- 同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場取引所** 東京証券取引所

# dwango

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル  
TEL:03-3664-5477 FAX:03-3664-5478  
E-mail: [ir@dwango.co.jp](mailto:ir@dwango.co.jp) URL: <http://info.dwango.co.jp/ir/>

### ■ホームページのご紹介

当社のホームページでは、当社グループのニュース、プレスリリース、企業情報及び財務情報など、当社グループの事業活動や最新動向についてご紹介しています。



<http://info.dwango.co.jp/ir/>



携帯電話からもアクセスいただけます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話からは  
右のQRコードからもアクセスいただけます。



IR情報ページ

### ■IRメールニュース

株主・投資家等の皆様に当社のIR関連の最新情報をメールでお知らせするサービスです。

パソコンのeメールアドレスをお持ちの方などなたでも無料で購読いただけます。ぜひご登録ください。